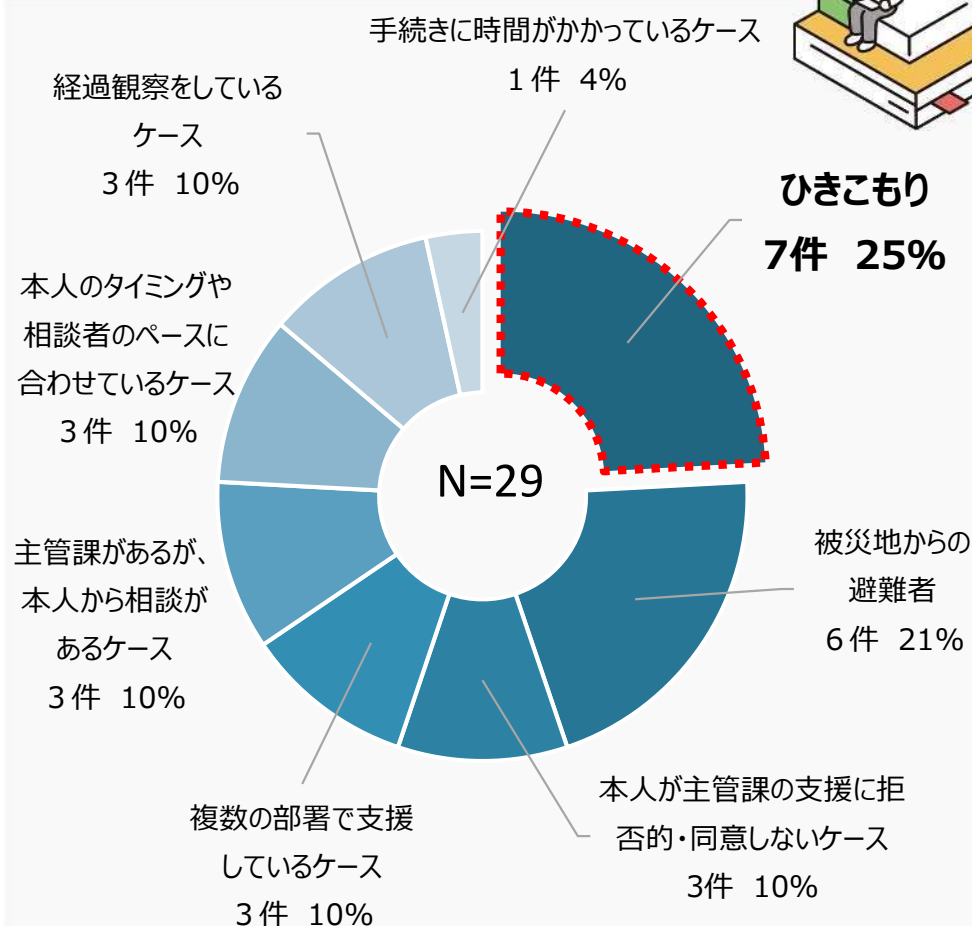


現状

くらしのまごとの相談課に寄せられた相談のうち、1年以上相談継続しているケースを分析したところ、最も多いものは8050問題に代表されるような「ひきこもり」であった。



【参考】1年以上未終結の案件（令和7年5月1日時点）

相談を通じて見えてきた課題

- ① ひきこもり状態や社会的に孤立しているケースでは、長期間にわたって継続的な支援を行う地域の団体等、受け皿が必要である。
- ② 当事者の会など、支援の対象となる人々が地域で何らかの活動に参加できる機会を設ける必要がある。
- ③ 地域づくり支援や参加支援を行う上では、複数の地域の支援団体が協力することが求められることから、区と地域の支援団体等との意見交換や支援の協議の場が必要である。

今後の方向性

- ✓ 社会資源への参加支援や地域活動団体の状況把握・可視化を進める。
- ✓ ひきこもり当事者会・家族会の開催にも継続して取り組む。
- ✓ ひきこもり等の理解促進や新たな支援者の発掘を目的とした住民向け講演会を実施する。
- ✓ 社会資源の充足を図るため、居場所を立ち上げたい方への運営支援を行う。
- ✓ 団体や支援者間で意見交換等ができる場をつくり、地域ネットワークの構築を進める。

（取組の詳細については、次のページ）

- 👉 令和8年度より、葛飾区社会福祉協議会に事業の一部を委託し、協働して社会的孤立の解消に向けて取り組んでいく。

社会的孤立（ひきこもり含む）への取組

区実施分

- ◎ 目的 本人・家族・支援者が孤立せず相談・支援につながるよう、相談前段階からの孤立予防と安心できる関係づくりを進める。

1

当事者会「かつROOM」



◆ 目的

安心して過ごせる居場所をつくることで、社会からの孤立を防ぐとともに、相談先を知る機会とする。

◆ 実施内容

ボードゲームや手作業を通じて参加者同士の交流を図る。学生ボランティアや元区職員等と連携して運営する。

開催予定・実績

令和7年度：2回開催（参加者延べ24人）
令和8年度：年4回予定

2

当事者及び家族会「だんご虫Time」



◆ 目的

当事者や家族が定期的に集い、同じような悩みを抱える方と交流することで、社会からの孤立を防ぐ。

◆ 実施内容

座談会形式で交流できる場を設ける。元当事者や福祉関係者が進行を担う。

開催実績

令和6年度：1回開催（参加者延べ4人）
令和7年度：6回開催（参加者延べ25人）
令和8年度～：社会福祉協議会へ移行

3

かつしかマダムの会



◆ 目的

女性が悩みを共有し、仲間とのつながりをつくることで孤立を防ぐ。

◆ 実施内容

音楽や手作業を取り入れた「おしゃべりの会」を開催する。地域の関係者がスタッフとして進行・運営を行う。

開催予定

令和8年度：年4回予定

4

ひきこもり支援者交流会



◆ 目的

支援者同士がつながりを深めることで、より良い支援につなげる。

◆ 実施内容

情報共有や居場所づくりに関する意見交換を行う。

開催予定・実績

令和7年度：1回開催
令和8年度：年1回予定



取組の方向性

相談につながる前段階から孤立を防ぎ、安心できる関係性をつくる。当事者・家族・支援者への取組を継続するとともに、社協と連携しながら相談支援につながりやすい環境づくりを進める。

社会的孤立（ひきこもり含む）への取組

社協委託分



目的 地域共生社会の実現に向け、家族支援・普及啓発・居場所づくり等を通じて、地域における支援基盤の強化を図る。

1



ひきこもり家族のための集いの場

◆ 目的

ひきこもりの方の家族が悩みを共有し、交流することで孤立を防ぐとともに、自主活動団体の立ち上げを支援する。

◆ 実施内容

ひきこもりに関する不安や悩みを共有し、安心して交流できる集いの場を開催する。

開催予定・実績

- 年6回開催予定
- 開催実績：1回（参加7名）

2



住民向け講演会

◆ 目的

ひきこもりをはじめとした地域課題への理解を深めるとともに、支援活動の担い手の発掘につなげる。

◆ 実施内容

ひきこもりの背景や当事者との関わり方、支援について学ぶ講演会を開催する。

開催予定・実績

- 年2回開催予定
- 開催実績：1回（参加50名）

3



居場所づくり

◆ 目的

地域における社会資源の充実を図るため、新たな居場所づくりを支援する。

◆ 実施内容

ひきこもりの方や生きづらさを抱える方の居場所づくりについて学ぶ講座を実施する。

開催予定

- 年2回開催予定



期待される効果



当事者及び家族の
孤立防止



地域の理解者・
協力者の拡大



地域資源・居場所
の充実



支援ネットワークの
強化



現時点での 区民の反応

- ・自宅でサロンを開きたい、子ども食堂を開きたい等の相談が寄せられている。
- ・講演会アンケートでは、居場所づくりへの協力意向が寄せられている。